

動物の愛護及び管理に関する意識調査結果（市政モニター）

○調査目的

令和2年度中の制定・創設を目指している旭川市動物愛護条例（仮称）及び旭川市動物愛護基金（仮称）を検討するにあたり，動物の愛護及び管理に関する意識調査を行い，今後の動物の愛護及び管理に関する施策を推進するための参考にします。

○調査対象

市政モニター登録者（142人）

○調査期間

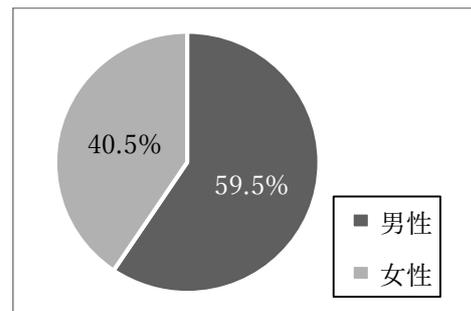
令和2年8月7日～令和2年8月19日

○回答者数

79人（回答率55.6%）

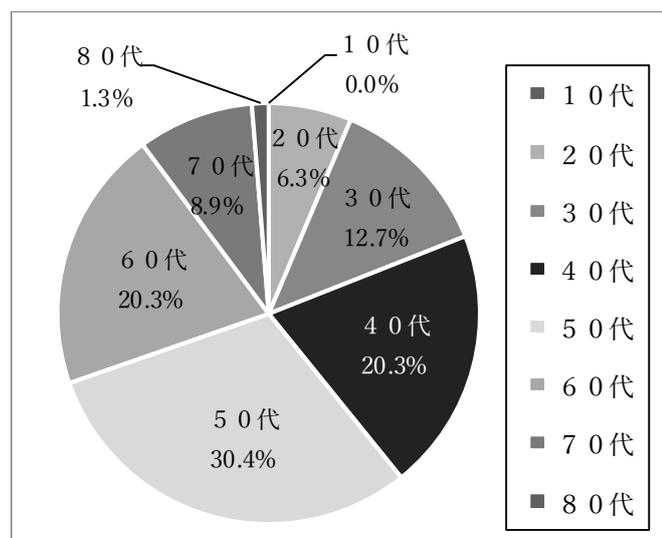
・性別

	回答数	割合
男性	47	59.5%
女性	32	40.5%
合計	79	100%



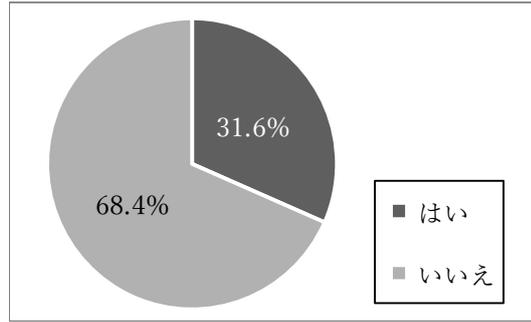
・年齢層

	回答数	割合
10代	0	0.0%
20代	5	6.3%
30代	10	12.7%
40代	16	20.3%
50代	24	30.4%
60代	16	20.3%
70代	7	8.9%
80代	1	1.3%
合計	79	100%



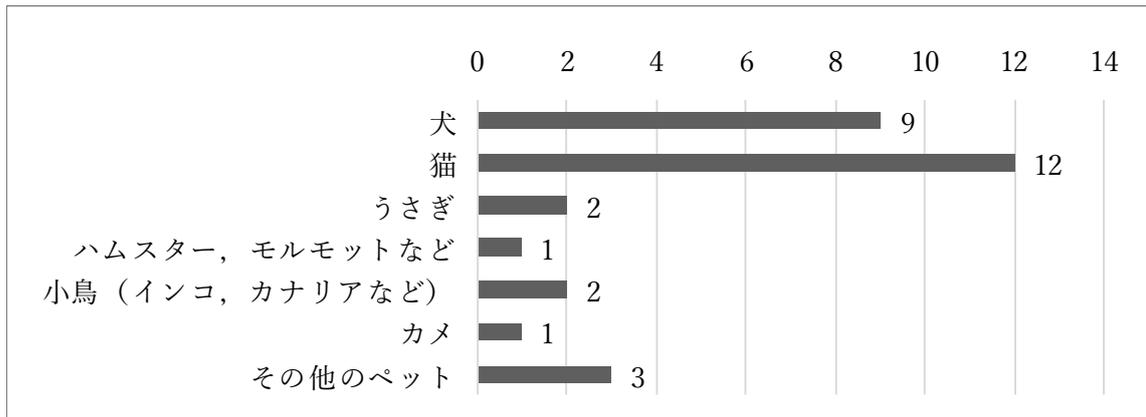
【1】現在、ペットを飼っていますか。

	回答数	割合
はい	25	31.6%
いいえ	54	68.4%
合計	79	100%



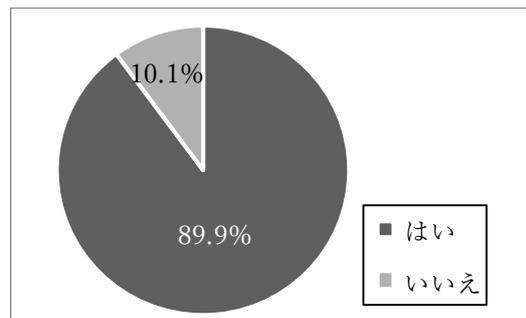
【2】現在、どのようなペットを飼っていますか。【複数選択可】

	回答数	割合
犬	9	11.4%
猫	12	15.2%
うさぎ	2	2.5%
ハムスター、モルモットなど	1	1.3%
小鳥（インコ、カナリアなど）	2	2.5%
カメ	1	1.3%
その他のペット	3	3.8%



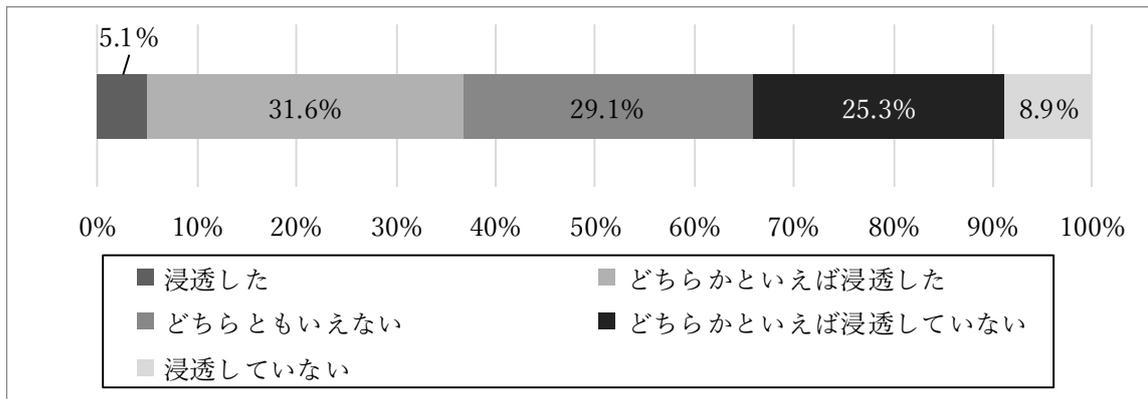
【3】旭川市動物愛護センター「あにまある」において、収容された犬・猫などを希望者に譲渡していることを知っていますか。

	回答数	割合
はい	71	89.9%
いいえ	8	10.1%
合計	79	100%



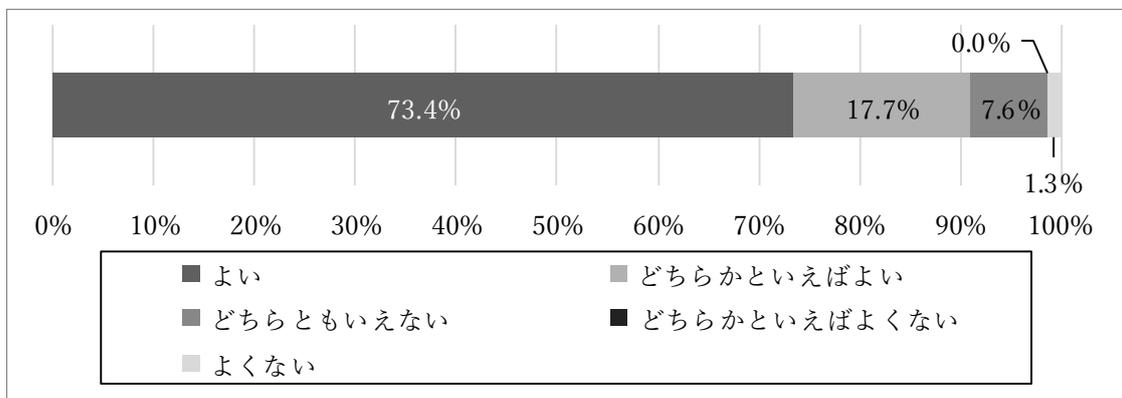
【4】「動物の愛護及び管理に関する法律」において、終生飼養（動物がその命を終えるまで適切に飼養すること）が求められていますが、その考え方は浸透していると思いますか。

	回答数	割合
浸透した	4	5.1%
どちらかといえば浸透した	25	31.6%
どちらともいえない	23	29.1%
どちらかといえば浸透していない	20	25.3%
浸透していない	7	8.9%
合 計	79	100%



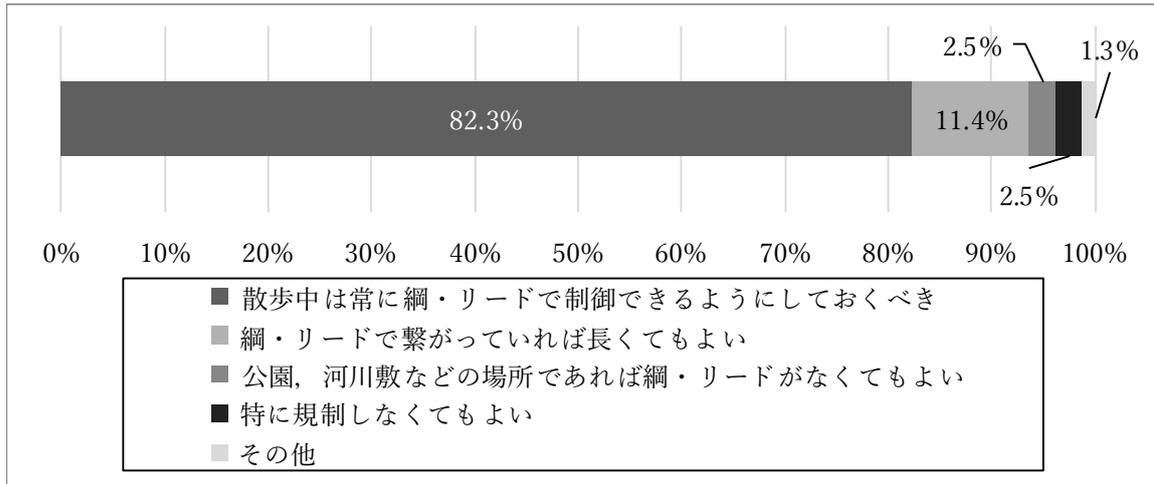
【5】動物愛護に関する市・市民・飼い主の責務や遵守事項などを定めた旭川市動物愛護条例（仮称）を制定することについてどう思いますか。

	回答数	割合
よい	58	73.4%
どちらかといえばよい	14	17.7%
どちらともいえない	6	7.6%
どちらかといえばよくない	0	0.0%
よくない	1	1.3%
合 計	79	100%



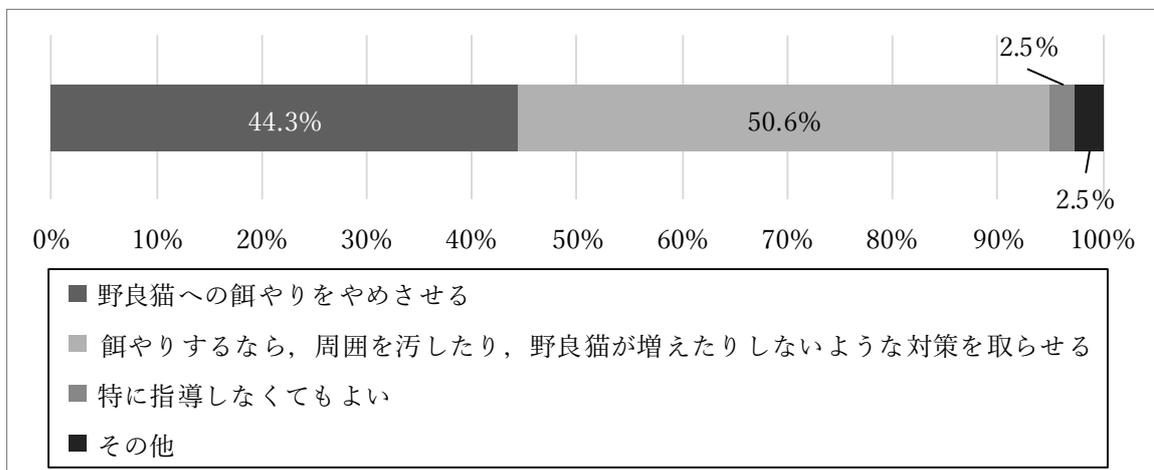
【6】犬の散歩の仕方について、どのように規制したほうがよいと思いますか。

	回答数	割合
散歩中は常に綱・リードで制御できるようにしておくべき	65	82.3%
綱・リードで繋がっていれば長くてもよい	9	11.4%
公園、河川敷などの場所であれば綱・リードがなくてもよい	2	2.5%
特に規制しなくてもよい	2	2.5%
その他	1	1.3%
合 計	79	100%



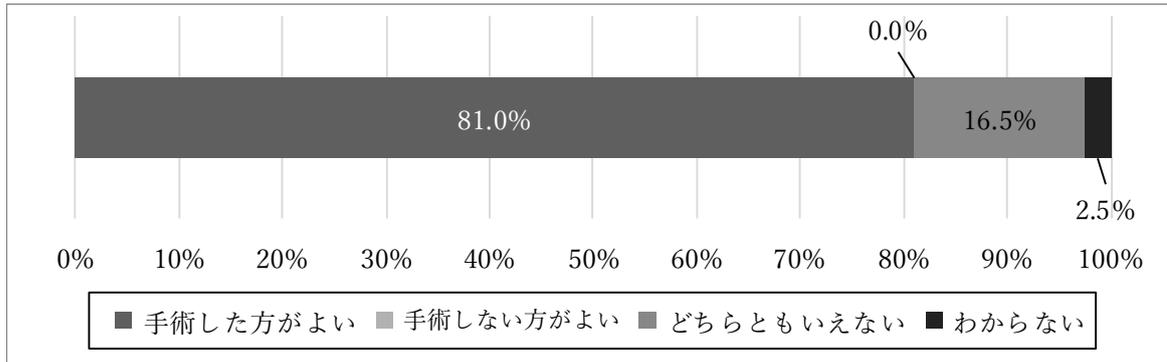
【7】野良猫（飼い主のいない猫）への餌やりに対する指導をどのようにしたらよいと思いますか。

	回答数	割合
野良猫への餌やりをやめさせる	35	44.3%
餌やりするなら、周囲を汚したり、野良猫が増えたりしないような対策を取らせる	40	50.6%
特に指導しなくてもよい	2	2.5%
その他	2	2.5%
合 計	79	100%



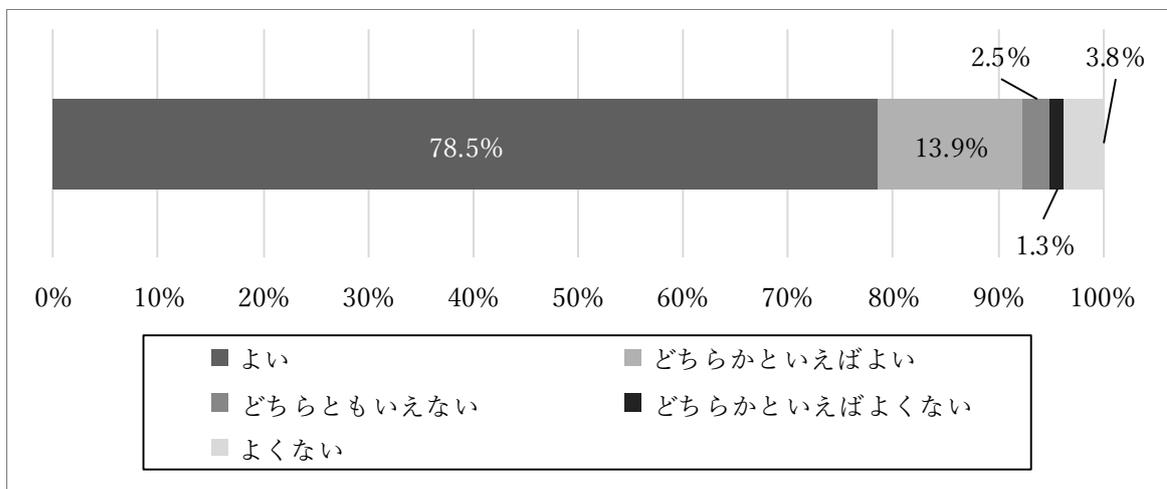
【8】「あにまある」では、みだりな繁殖の防止や、病気予防、問題行動抑制のため、ペットの避妊・去勢手術を推奨していますが、このことについてどう思いますか。

	回答数	割合
手術の方がよい	64	81.0%
手術しない方がよい	0	0.0%
どちらともいえない	13	16.5%
わからない	2	2.5%
合計	79	100%



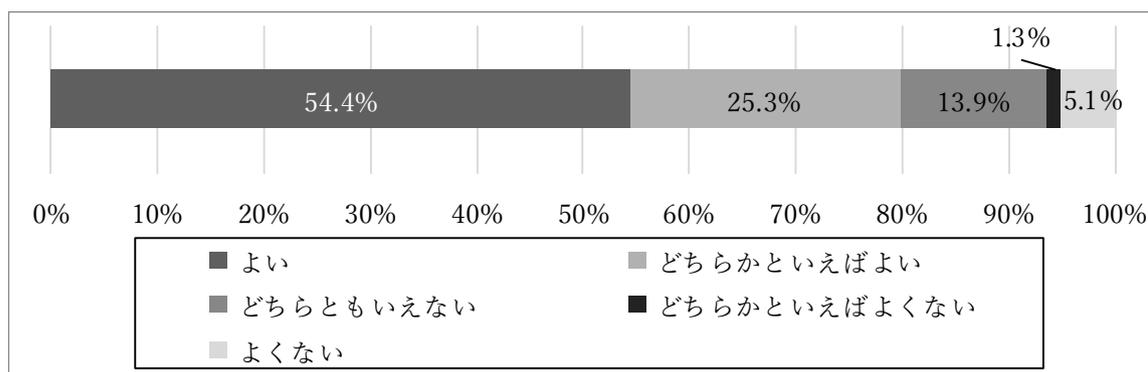
【9】犬・猫がみだりに繁殖してしまう「多頭飼育崩壊」の問題に対し、一定数を超過して飼う場合の届出制を導入することについてどう思いますか。

	回答数	割合
よい	62	78.5%
どちらかといえばよい	11	13.9%
どちらともいえない	2	2.5%
どちらかといえばよくない	1	1.3%
よくない	3	3.8%
合計	79	100%



【10】動物愛護に対する寄附をしたいという声に応えるため、あさひかわ応援寄附金（ふるさと納税）の使い道に動物愛護に関する内容があるとよいと思いますか。

	回答数	割合
よい	43	54.4%
どちらかといえばよい	20	25.3%
どちらともいえない	11	13.9%
どちらかといえばよくない	1	1.3%
よくない	4	5.1%
合計	79	100%

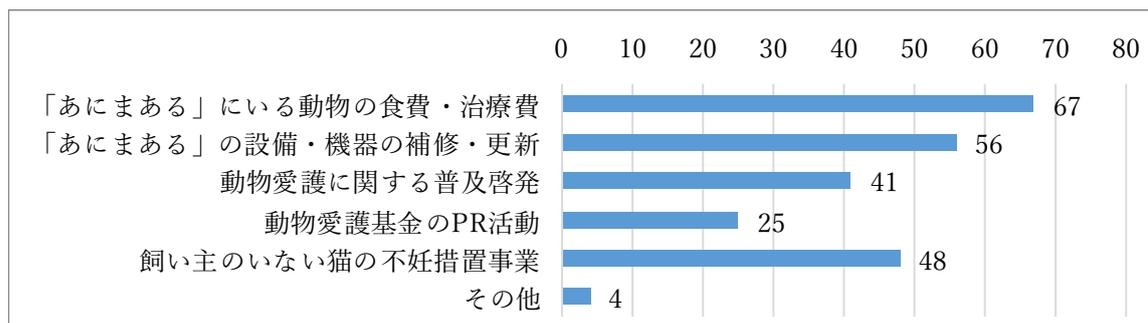


【11】動物愛護に関する寄附金について、どのような目的に使うとよいと思いますか。
【複数回答可】

	回答数	割合
「あにまある」にいる動物の食費・治療費	67	84.8%
「あにまある」の設備・機器の補修・更新	56	70.9%
動物愛護に関する普及啓発	41	51.9%
動物愛護基金のPR活動	25	31.6%
飼い主のいない猫の不妊措置事業	48	60.8%
その他	4	5.1%

○その他の内容

- ・犬猫に限らず飼育困難ペットの引き取り処理受付の充実を図る費用に充てる
- ・犬・猫などの譲渡会をもっと幅広く開催できるようバックアップ希望
- ・譲渡に至る迄の動物達のお世話をしてくれる人に使う、トレーナーさんを増やす等
- ・何をもって動物愛護というのか それがあまりにも曖昧であるから

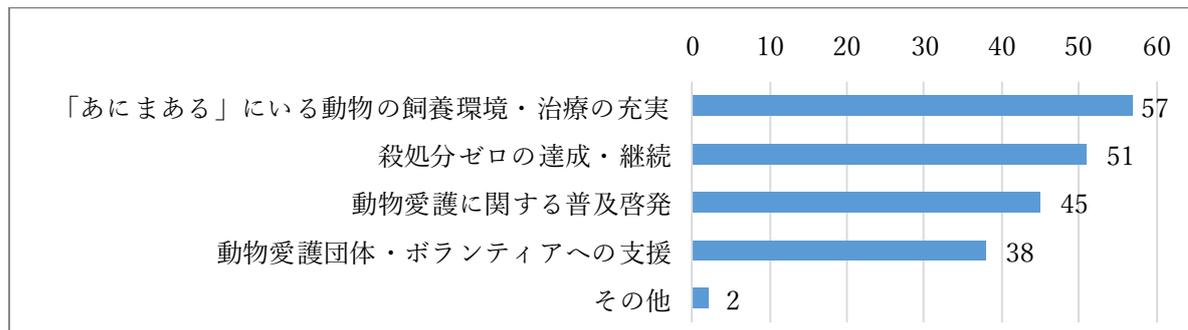


【12】 今後「あにまある」にはどのようなことに取り組んでほしいですか。【複数回答可】

	回答数	割合
「あにまある」にいる動物の飼養環境・治療の充実	57	72.2%
殺処分ゼロの達成・継続	51	64.6%
動物愛護に関する普及啓発	45	57.0%
動物愛護団体・ボランティアへの支援	38	48.1%
その他	2	2.5%

○その他の内容

- ・引き取りてのいない動物の殺処分
- ・殺処分を無くす為に、ペットショップや不勉強なブリーダーを無くす為の働きかけ



【13】 動物の愛護及び管理に関する自由意見

- ・飼い主の勝手に不幸になってしまうような動物たちが少しでも助けられるように、環境整備していくことは大事だと思います。
そしてそういった事業に力を入れている都市だとアピールしていく。
安心してペット暮らせる街旭川、動物たちも幸せな街旭川として対外的にもコマーシャルしながら、市民への意識、啓発も促していけるのではないのでしょうか？
- ・旭川市が全国に先立って殺処分ゼロを達成した事は、非常に素晴らしい事です。これからも当たり前前に動物が動物らしく生きていける環境が旭川にある事を願います。
- ・いくら愛護を叫んでも絶対に減らないと思います。虐待依存症の奴が罰から逃れ堂々と暮らしている現実。動物以前に人としての教育から始めなければいけないのでは？動物愛護を叫んでいる方々は「リア充感」を楽しんでいる様に見えます。
- ・動物を飼う人は、自覚と責任を持って飼うようにしてほしいので、啓発活動は続けて欲しいと思います。
- ・自分が若い頃（40年以上前くらい）は、捨て犬や捨て猫がごく普通に行れていたという記憶がある。うちの愛犬も今年で14歳になるメス犬だが、去勢はしていない。妻が、健康な身体にメスを入れるのは可哀想と言うのがその理由だ。しかし、2年ほど前に癌になり結局手術した訳だが、今は元気に色々な所に出掛けて一緒に過せている。このワンちゃんも実は

当時、嵐山にあった処分場から引き取った子である。あと1日引き取り手が現れなければ、処分されるという話だった。後、何年一緒にいられるかは分かりもしないが、それまでは大事な家族の一員として生活できればと思う。

- ・家族・親族の反対を押し切って内緒で勝手に犬2匹を飼っていますが、入院したり老人施設に入所、死亡又は高齢で体が動かなくなりして家族・親族も死亡していきなく終生飼養できなくなった場合にどうすればよいでしょうか?家族・親族のいない天涯孤独の飼い主独居老人が終生飼養が出来ない場合は如何すればよいでしょうか?低額な一時金で殺処分しなくてよい終生飼養してくれるような公的な施設があればよいと思います。ご検討下さいますようお願い申し上げます。
- ・保護犬及び猫を広報でアピールして欲しい。また、安易な飼育に対しては強い指導が必要。生きている全ての動植物は大切です。
- ・動物愛護に関するふるさと納税由来の寄付金が多くなれば市の予算が削られるようなものであってはならないと思います。別建てというか、これまでのあにまあるのありようはそのままに、寄付が寄付として活かされるような仕組みにしてほしいと思います。それができれば僕も些少なから寄付します。
- ・あらゆるペットの飼育登録の義務付けと放棄に対する罰則強化(氏名公表など)。
- ・当家でも子供が生まれたころペットの話もあり、ペットを通じ生き物への愛情や世話をすることで、病気がへの思いやりが養われることの必要性を感じ妻とも話しましたが、アパートから住居への移転でまだ新しい住居を守る?汚したくないことからペットは後でとなり28年たちましたが、自身の生まれた上富良野町の農家ではペット・・ねずみの見張り役として多いときは6匹ほどいました・・放し飼いでしたがそれぞれ性格もあり家族の一員としていましたので 私や妹弟も生き物への愛情が飼うことにより育ったと思いますし、じゃれた遊びでさみしくもなく暮らしていたと思います・・たまに 猫同士のじゃれ暴れでモノが壊れたり、食べ物を盗み食いされ母親があきれてましたが それなり笑えるようなよく見つけどうやって開けたのかと 関心もしてました・・夜に近所のらんぼうものの猫と喧嘩で逃げ帰り木材の煙突支柱の上に上り逃げ降りられなくなり泣いてるのを救助するのに よく屋根に上がり助けたこともありました・・今時代は屋外に自由に猫も出せなく家猫として買うことが多いためかわいそうとも思いますが、交通事故にもあうためやむを得ないこととも思います 猫派なので犬や他の動物のことはよくわかりません・・愛情ある人格を育てるにはペットは必要と思いますので、アパート、マンションでも買いやすい・・防音もよい建物の指導も人間関係でずれてきてるため必要かと思います・・
- ・野良犬・野良猫の去勢、避妊を捕獲または拾った人が簡単に 気軽に届出でき無料で実施できるような体制の構築と もっと多くの譲渡会の開催を希望。
(現状をあまり良く把握していない中での勝手な意見ですので読み流してください ((笑))
- ・動物愛護と称して時に害獣化(キツネ、カラス、熊、野良犬、野良猫等)する動物への過剰な言動、行動をする方がいるが、人の生命保護、環境美化の観点から理解出来ないこともあ

る。ペットを飼うには第三者への極度の迷惑になることは一切禁止するべきである。

- ・あにまある は現状のままで良いと思います、
- ・動物の放し飼いや多頭飼いなど広く市民への啓発活動を積極的に進めてほしい。
私もそんなに動物について理解はしてはいませんが、猫を飼うようになって特にかわいくなりました。最初は猫なんかは、外で好きに遊ばしておいていいので適当にさせていましたが、最近犬猫病院に行くことが多くなり、猫の病気や野良猫が増えてしまうことが気になります。
私が子供の頃(50年)ぐらい前では猫が農家の納屋や自宅の物置で子供を育てていました。その頃と今は全く違う状況になっていますのでやはり自宅で飼うこと(多頭飼いではなく)生まれてから死ぬまできちんとお世話をすることが必要です。
また、CS放送で飼い主が暴れる犬、猫をしつけできない場合に教える番組があります、それを見ているとほとんどが動物と一緒に暮らすことができない人がかわいいから飼うようになり本当は動物が一番困っているのを理解できない人が飼うことは無くなってほしいので何かそういった活動をしてほしい。
- ・約60年前ぐらいまで猫、犬を飼っていましたが、いずれも、わが家で亡くなりました。それ以来飼っていません。(犬は老衰、猫はある日突然いなくなった)
昔は猫はネズミを捕る(農家でした)。毎日のようにネズミを捕り、毛がつやつやしていました。
犬は番犬用で外に繋いでいた。セパート犬で良く吠えていました。
現在は子供のように犬を家の中で飼っているの、自分には理解できない。
面倒なので、一切動物は買わないことにしています。
☆動物を飼う人は責任をもって最後まで面倒みるのが当然だと思う。
- ・「あにまある」は無くてはならない施設。十分な資金と同時に更に動物愛護全ての面に於いて充実して欲しいです。
- ・動物愛護は良いことですが、マンション住まいでマンション規約では動物の飼育禁止になっているのですが、入居者が交替し(築40年)守れなくなり新入居者が、現在入居者が数軒飼っている犬がいるため、犬を処分してから入居せよと言えなくなります。エレベータでも吠える犬、玄関前で小便するなど、飼い主はもう平気で大ぴらです。もう少し住民の気持ちを配慮した行動がほしい。このこと一つでも、飼い主は動物愛護の精神を自分だけ満足せば良い。また、飼いきれなったら放棄するなど、飼い主のモラルとなって来ているのではないのでしょうか。
- ・これまでの取り組みを継続してください。
- ・動物の殺処分ゼロの達成、継続を特に取り組んでほしいと思います。
- ・民間団体と連携するのも大事だとは思いますが、民間ありきにするのではなく、市が主導で行う事が1番の啓蒙になると思います。
- ・数年前のお話ですが、主人が旭川市内で自転車に乗っていた時に、長いリードでお散歩して

いる犬が突然道路に出て行き、リードの上を自転車が走行する形になり、もちろん主人はびっくり返り、ケガもしましたが、自転車が破損。飼い主は全然謝る気配もなかったそうです。こう言った事故を減らすためにもっと市内ではリードの扱い方を制御すべきだと思います。またマンションやアパートで動物を飼えないところが多いですが、もう少し範囲を広げられたら、きちんと飼える人は行き先を失った動物達を守ってくれるのでは？と思います。

- ・猫屋敷や動物虐待の恐れがある家に行政指導ができるようになって欲しい。
- ・野良猫を保護してほしい時にあにまあるに連絡したら冷たかった
放っておいて下さいって言われたけど、保護する気ある？
だから野良猫が増えるのでは？
頼れないなと思いました
あにまあるで、引き取った事があるので、飼育はちゃんとしてる。と信頼してからこそ、対応に、がっかりした
- ・一定数以上飼育する際の届出で把握するのは良いが、多頭飼育崩壊するような飼主は条例ができて届出をしないと思う。
- ・犬の散歩では、糞尿を外でさせないでほしい、フンは回収しても完全にきれいにならないし、尿はそのまま、一度されると、継続してそこにしていくから、また、私の家族もそうだが犬アレルギーに人もいるし、延びるリードは長くし過ぎないでほしい
猫もそとにださないでほしい、フンをどこにでもしていくので
あにまるに見学に行ったことがあり、ありがたい施設だと思いました。ただ、こういった施設があることをいいことに、安易に動物を飼う人がいないことを願うばかりです。
- ・「あにまある」では殺傷処分がゼロだと聞いている。(違う？)
私も以前犬を飼っていた。今後も全ての犬猫達がそうなるように永続的に今の活動をしてほしい。
私の知人が「あにまある」で犬を譲渡してもらおうと行った時に、年齢が70代という理由だけで規則上で断られたとのこと。健康で飼育に問題ない70代もいるので、年齢だけで線引きするのを検討してほしい。
- ・私は、犬一匹飼ってます。今年10才になります、ペットは、家族と一緒に飼う以上は責任を持って飼いたいですあにまあるでは、命を大切に犬、猫たちが、幸せになれるように
- ・野良猫の避妊など 助成金も含めて、広く動物愛護に支援を広げてほしい。
- ・頑張ってください
- ・ペットを販売する方にも、指導が行き届いたほうが良いと思います。
- ・野良猫や野良犬が増えるのは困るので、やはり、ペットとして飼うのであれば最期まで責任を持っていただきたいです。
最近、市内にきつねがおり、どちらかといえば、きつねの管理の方が気になります。
エキノコックスの病気を考えると対策など徹底していただきたいです。

- ・自分の意思で将来を決められない動物達だから、一生がい楽しい生活が出来る様にしたい。動物連れで交通機関、お店を使える迄に成っていきたい、外国名は不確かですがその国も、20年程前は今の日本と同レベルだったが意識が変わって犬らと人間と一緒に生きられると。
しつけ、飼い主側の意識もかなり厳しいがそれだけやれば、やすやすと捨てたりしないと
し、飼うならそれなりのペナルティを課すべきだと思う。
- ・犬でも猫でも一度飼ったら家族同然。一生大切にしてほしい。
- ・最近、多頭飼育崩壊が問題にいますが、犬は狂犬病などの登録が必要ですが、猫も同様に登録制にした方が良いと思います。
避妊手術の費用も、何か少額でも補助があれば、良いと思います。
- ・近所にのら（捨て）猫を10数匹飼育している方がいます。のら（捨て）猫の情報があると収容し、去勢手術と病気の猫は治療して、譲渡は難しく生涯を終えるまで愛情をもって育てている様子です。「動物の命」を考えると、人間の勝手に飼育の放棄などが多くみられることに憤りを覚えます。以前より「あにまある」の活動に関心があり、条例および基金の制定を希望いたします。